

		現状の問題点・今後の計画方針	交換年	対応年度											
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度		
				築後33年	築後34年	築後35年	築後36年	築後37年	築後38年	築後39年	築後40年	築後41年	築後42年		
県有建築物保全点検															
電気設備	受変電設備	気中開閉器 (PAS)	2014年製造の機器に更新済み。間もなく推奨交換期間の10年をむかえるに当たり、更新の検討が必要。	H26											
		高圧交流負荷開閉器 (LBS)	2006製造の機器に更新済み。推奨交換期間の15年を経過したため、早期の更新が必要。	H18											
		高圧コンデンサ、ヒューズ他	2006製造の機器に更新済み。推奨交換期間の15年を経過。今後の点検結果及び他工事との優先性を考慮しながら早期の更新を行う。	H18											
		変圧器	2017製造の機器に更新済み。推奨交換期間は20年であり、次回更新はR9となる。	H29											
		高低受電盤	現在まで部分的な更新のみ行っているため、計画的な更新が必要である。今後の点検結果及び他工事との優先性を考慮しながら早期の更新を行う。	H1				受変電設備 改修工事							
		分電盤、制御盤	遮断器、ケーブル類は建築後未更新であり点検報告で一部機能低下が見られることから、すみやかな更新が必要。	H1				5,000							
	照明設備	建築後未更新であるため、蛍光灯の製造中止に向けて照明器具のすみやかな更新が必要。蛍光灯の国内生産終了も踏まえR4に予算措置済み。また、街路灯(水銀灯)においては、既に製造が中止となっていることから、検討が必要。	H1		館内照明設備 LED化工事 4,950						屋外等照明 設備LED化 工事 4,950				
消防設備	自動火災報知設備	劣化した感知器の部分的な更新を行っているが、受信器及び配線は未更新であり、耐用年数から判断すると全面的な更新が必要である。	H1												
空調設備		事務室のエアコンはR3に更新済み。今後愛護館のエアコンについても早期の更新が必要。	R3					愛護館空調 設備改修工事 4,500							
衛生設備	給排水設備	排水管は建設以来改修を行っておらず、配管への木の根の侵入により詰まりを起こすことがあるため、改修が必要。揚水ポンプにおいてはH26に改修を実施しているが、負荷が多くなる機器のため、計画的な部品交換や改修が必要。給水管や給湯設備も老朽化しているため、今後の点検結果を考慮する。トイレは高齢来場者の増加にあわせ、R3に洋式化へ改修。	H26	管理棟トイレ 洋式化工事 1,650				排水設備改修 工事 5,000		給水ポンプ 交換工事 4,500	汚水処理設備 老朽化対策工 事 3,000				
建築	屋根防水塗装	劣化にともなう雨漏りが見られ部分的な補修を行ってきた。早期の防水塗装工事が必要。	H1							屋根防水塗装工事 8,000					
	外壁	H24に東日本大震災によるひび割れ等の災害復旧を実施しているが、建築後大規模な補修は行っておらず全面的な改修が必要である。	H1												
	内壁	H24に東日本大震災によるひび割れ等の災害復旧を実施しているが、建築後大規模な補修は行っていない。劣化の具合に合わせ、改修を計画する必要がある。	H1												
	耐震化等	耐震化診断では問題無し。改修履歴は無し。	H1												
その他	附属棟	全面的な改修は行っていない。主に職員による独自の環境整備により維持管理している。施設の多くが耐用年数を経過しているため注意深く観察、管理していくことが必要。	H1												
	常設テント	老朽化により劣化しているため、R4.2月現在改修工事中。	R3	再塗装・大帯張 替工事 3,663											
	特殊機械	H25に東日本大震災による耐火レンガのはがれ等に対する災害復旧を実施しているが、建築後大規模な補修は行っていない。経年劣化により耐火レンガの損傷が見受けられるため改修が必要。	H25				特殊機械設備 修繕工事 718								
				5,313	4,950	718	5,000	4,500	5,000	8,000	4,950	4,500	3,000		